

建築士

おおた

春季号

2020 NO 124



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 令和元年度第2回理事会の概要報告	大分県建築士会事務局
02 建築士法の改正（R2.3.1施行）について	ゝ
04 第10回高校生の「建築甲子園」 結果報告（鶴崎工業高校）	ゝ
05 昇降機閉じ込め事故に関する早期救出 対応研修会	(公社)大分県建築士会 昇降機センター 丹生 和美
05 令和元年度 一級・二級・木造建築士免 許証明書交付式	事務局 福田 梨恵
06 安政5年の大洪水	公益財団法人廣瀬資料館 園田 大
08 公益事業の成果	佐賀関支部 渡邊 豊基 日田支部 櫻木弘三郎 佐藤 幸司 後藤慎太郎 臼杵支部 松井 健児 大分支部 中原健太郎 津久見支部 大村 正壽
18 インフォメーション（支部便り）	臼杵支部 松井 健児 別府支部 小山 秀輝
21 我が街の建築士紹介	大分支部 後藤 典明 大分支部 宮井 楓 別府支部 中谷 由美
22 マイワーク	日田支部 澤熊 祐子 臼杵支部 松井 健児
24 マイベストブック	宇佐支部 古市 憲司 高田支部 後藤 憲二
25 我が街紹介	佐賀関支部 井上 雅順 中津支部 永井 孝典
27 マーポーの旅先日記	会 長 井上 正文
28 事務局だより	大分県建築士会事務局



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

別府教会

設計：別府支部 新山 俊則

令和元年度 公益社団法人大分県建築士会 第2回理事会報告

令和2年1月24日(金)大分市アートプラザ研修室にて令和元年度第2回理事会が開催されました。理事40名の内、本日29名の出席と委任状による出席9名で計38名の出席により以下の議題について審議されました。

第1号議案

「公益社団法人大分県建築士会二級建築士等登録事務規程の改正について」(承認)

・大分県建築士会は建築士登録に係る業務について大分県指定登録機関として指定されていますが、建築士法及び大分県建築士法施行細則の改正(令和2年3月1日施行)に伴う「公益社団法人大分県建築士会二級建築士等登録事務規程」の改正が必要となりました。改正内容について知事の認可をうけるために理事会の承認をもとめ、審議のうえ承認されました。

第2号議案

「令和2年度役員改選に関する基本方針について」(承認)

・定款第21条第6項の定めにより、役員改選に必要な事項について事務局から説明し例年の改選方法に準じて実施することについて提案し、各支部、ブロックごとの理事配分など基本方針の内容について審議し承認されました。

第3号議案

「委員会及び部会の見直しについて」(承認)

・建築士法の改正に伴う建築士登録業務の増加等の新たな状況に対応した委員会活動の充実と士会事務局業務の負担軽減を図るために、総務委員会に法務部会(仮称)を新設し建築士登録業務、歴史的建築物等の保存活用業務、定期報告業務、景観整備機構等の建築士に係る法律的な課題について調査研究を行い、会員及び会をサポートを行える委員会組織の見直しを定款第32条第2項に基づき提案し内容について審議し承認されました。

第4号議案

「令和2年度総会日程等について」(承認)

・定款第12条に基づき、議長より令和2年度の総会日程について令和2年6月19日(金)の開催について提案し承認されました。同日に理事の選任と役員の選任、永年会員の表彰等を行います。

第5号議案

「その他報告事項等について」(協議)

・主な行事予定について、令和2年度公益事業要望の提出について、会員増強月間の取組について等の連絡事項を事務局から行われた。

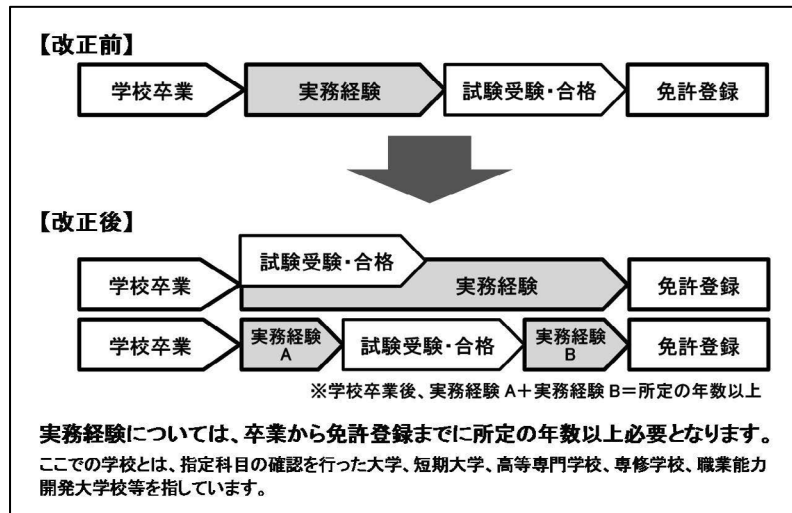
令和2年度から建築士試験の受験要件、登録要件が変り新しい建築士制度がスタートします。また、建築士事務所の図書保存の見直しがありました。

① 建築士試験の受験資格・登録資格の見直し

二級・木造建築士を7年実務で受験する場合を除き、実務経験は受験時には不要で、登録時に必要となります。

I. 建築士試験の受験資格の見直し

従来、建築士試験を受験する際の要件となっていた実務の経験が、免許登録の際の要件に改められました。これにより、一定の指定科目を修めて所定の学校を卒業した方は、卒業後すぐに建築士試験の受験が可能となります。

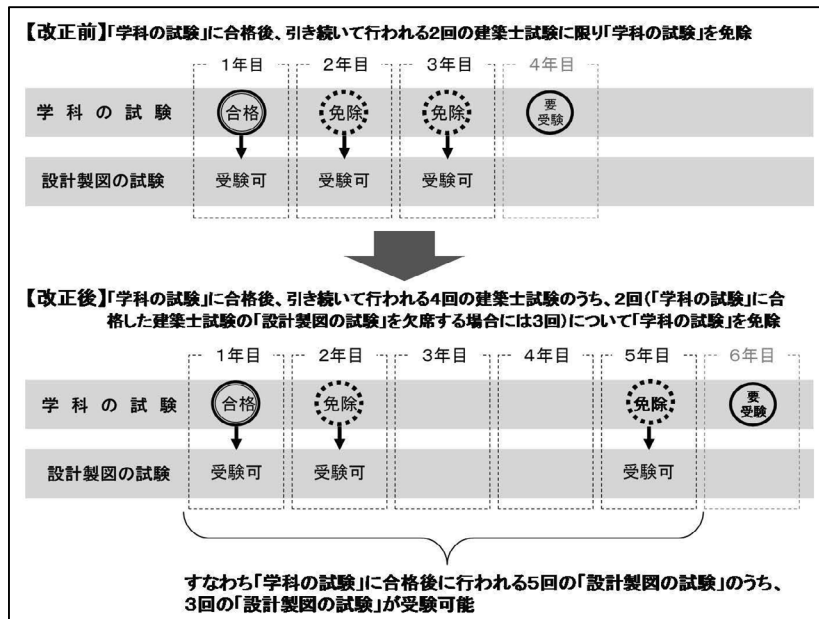


② 学科試験免除の仕組みの見直し

令和2年以降に学科試験合格後その合格年を含めて5年間で3回の製図試験受験の機会が与えられることとなります。

II. 建築士試験における学科の試験の免除期間の見直し

「学科の試験」に合格した方は、同年に行われる「設計製図の試験」に不合格となった場合、次の年から4年間にわたり実施される設計製図の試験のうち2回の受験機会が与えられます。また、同年に行われる「設計製図の試験」を欠席した場合は、3回の受験機会が与えられます。これらの受験機会を利用し「設計製図の試験」を受験する場合は、その年に行われる学科の試験は免除されます。



③ 建築士資格に係る実務経験の対象実務の見直し

これまでの設計・工事監理等の実務要件の他に基本計画策定、既存建築物の調査、建築物全体に密接な関係のある工事、住宅都市行政、工業高校等の教育研修なども加えられました。詳しくは国土交通省HPに掲載されています。

④ 建築士事務所の図書保存の見直し

(改正前)

建築士法第24条の4において、建築士事務所の開設者の図書の保存規定が定められ、同法施行規則の第21条第4項第2号においては、建築士でなければできない設計又は工事監理に係る図書で、配置図、各階平面図、二面以上の立面図、二面以上の断面図及び設計が建築基準法第6条第1項第2号又は第3号に係るものについては、更に基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、構造計算書の保存義務が定められている。

(改正後)

全ての建築物について、配置図、各階平面図、二面以上の立面図、二面以上の断面図、基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、**構造計算書等**、及び工事監理報告書の保存が義務付けられました。

構造計算書等とは「①許容応力度計算書等の構造計算書」「②木造建築物の構造安全性を確かめるための重要な計算である壁量計算、4分割法の計算及びN値計算に係る図書」「③構造安全性を確かめることで一部の仕様規定を適用しないこととするための構造計算書等」をいいます。

保存期間は従来と同じ15年間の保存が義務付けられます。

- I 設計が建築基準法第6条第1項第2号（木造3階建て等）又は第3号（非木造2階建て等）に係る図書の場合（追加）
 - ▶ 従来通りの構造計算書等に加えて②壁量計算書等、③仕様規定関係等の保存
- II 建築士でなければできない設計又は工事監理に係る図書の場合（追加）
 - ▶ これまでの配置図等の図面に加えて、基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、壁量計算書等（上記①、②、③）
- III 上記以外（100m²以下の2階建て木造建築物等）の設計又は工事監理に係る図書の場合（新規義務付け）
 - ▶ 配置図、各階平面図、二面以上の立面図、二面以上の断面図、基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、構造計算書等、工事監理報告書

2019年

第10回高校生の「建築甲子園」で鶴崎工業高校が奨励賞を受賞

●趣旨

2019年度第10回高校生の建築甲子園テーマは、「“地域の暮らし — これからの地区センター”」と題し、地域の核となる施設として包括的に捉え興味をもつコミュニティ、その核となる地区センターを現況や従来型にとらわれずに自由に描いて貰い新築、増築、建替、リノベーション、コンバージョンなど色々なケースにて提案していただきました。

●応募総数

全国36都道府県にて、64校より117作品の応募がありました。大分県からは大分鶴崎工業高校の建築科3年生の堀田林花さん、清澤花音さん、松田司先生（指導教諭）から応募がありました。応募作品タイトルは「地区センターが生み出す新たな地区の創造！山と海に囲まれた限界集落にヒントあり」で、地区センターをあえて限界集落と関連付けて人的・物的交流を促進させるという提案でした。

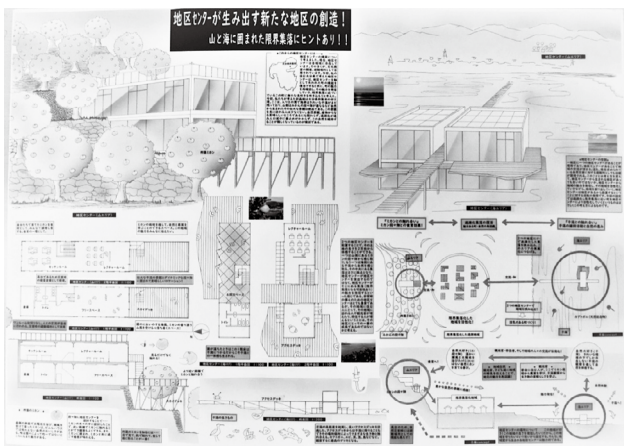
●審査経緯

○1次審査会でベスト8選出

○最終審査会ではベスト8に選出された高校より、提出されたプレゼン動画を基に最終審査を実施し群馬県立桐生工業高等学校「桐生新町重伝建に建つ地区センター ヒカリ～雷～ギザギザ」が選出され優勝しました。

○大分鶴崎工業高校は残念ながら奨励賞でしたが、今後も未来の建築士たちの夢を競う建築甲子園であることが期待されます。

「応募作品」



大分鶴崎工業高校にて奨励賞表彰状と記念品をお渡ししました。
右から松田司先生、佐藤啓二校長、清澤花音さん、堀田林花さん、穴井、円福秀樹教頭

昇降機閉じ込め事故に関する早期救出対応研修会

(公社) 大分県建築士会昇降機センター 丹生和美

昇降機センターでは毎年様々な研修会を開催しています。平成28年度、平成29年度は一般財団法人埼玉県建築安全協会より講師を招き、検査者・事務担当者を対象とした「昇降機等定期検査報告書作成要領講習会」を開催しました。法改正で新たに対象となった小荷物専用昇降機の報告書作成に大変役立ちました。平成30年度は厚生労働省大分労働局より講師を招き「労働安全衛生法における昇降機等の検査・点検に関する研修会」を開催し建築基準法との違いを勉強しました。そして今年度は「昇降機閉じ込め事故に関する早期救出対応研修会」を開催しました。県営住宅のエレベーターを使い、保守点検メーカー様指導の下、住民の方々に実際に閉じ込めを体験してもらい救出訓練を実施しました。(写真-1) また、座学では保守点検メーカー様からエレベーターの構造の基礎知識から救出の手順等を説明して頂きました。(写真-2) マスコミ各社にも取り上げて頂き大変有意義な研修会となりました。この研修会は今後も各地域で継続的に開催していく予定です。



写真-1 閉じ込め体験の様子



写真-2 座学の様子

令和元年度 一級・二級・木造建築士免許証明書交付式

(公社) 大分県建築士会 事務局 福田梨恵

平成25年度より毎年開催している「建築士免許証明書交付式」を、今年度は令和2年2月26日(水)17時より大分センチュリーホテルで開催しました。新規登録者のうち、二級建築士10名、一級建築士10名が出席し、まず新規登録者セミナーとして事務局から法改正に関する説明や建築士の処分、業務報酬基準についての説明をし、併せて建築士会の「けんばい」や「定期講習」について案内を行いました。

17時30分より井上会長及び来賓の大分県土木建築部建築住宅課長 樋口邦彦様より祝辞を賜り、20名全員に会長から直々に免許証明書を交付しました。新建築士の挨拶として高山鮎美氏(アトリエテイク)と佐藤武典氏(日本文理大学)より試験合格までの苦労や登録後の抱負を語っていただきました。

首藤青年女性委員長には建築士会に入会することによる利点(人と人のつながりやイベントの企画・参加等)をお話いただきました。すでに新たに入会を決めている方もいるので、是非建築士会を盛り上げる一員となっていただければと思います。式の最中は出席者全員建築士としての自覚や覚悟、緊張感が伝わってくるととても良い雰囲気でした。



出席者の様子



樋口課長による祝辞



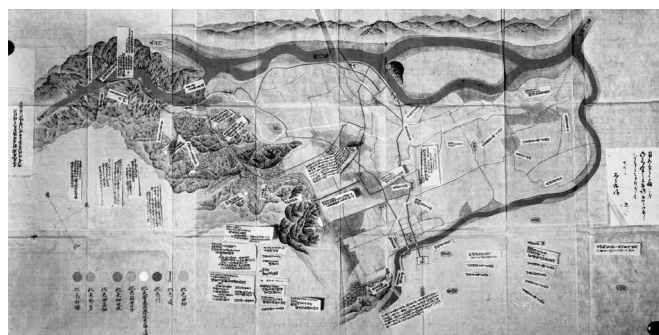
交付時の様子

安政5年の大洪水～水郷と水害の日田～

公益財団法人廣瀬資料館 園 田 大

筑後川上流の大分県日田市は江戸時代から幾多の洪水を受けています。一昨年(平成29年)7月5日の九州北部豪雨では筑後川水系の花月川の氾濫で多大な被害をこうむり、今年(平成30年)の7月で2年目となります。

今回は安政5年(1858年)の大洪水を紹介します。



日田古地図(下が北)

この洪水では、5月23日の朝から大雨が降り、花月川が氾濫して、豆田町は大被害を受けました。この雨は夕方には上がり、晴れました。豆田町は大きな被害を受けましたが、三隈川沿いの隈町では何の被害もありませんでした。現在の私たちはゲリラ豪雨を耳にしますが、江戸時代にも有ったようです。

洪水が発生した翌日には代官所よりお米が支給され、素早い対応がされました。その内容が「廣瀬本家日記」に記録されています。



普段の花月川

1. 被災者への米の支給

下記はお米を支給した人数で、男性は3合・女性は2合、支給されました。

豆田町503人、丸山町399人、城内町72人
中城町45人、淡窓町34人

豆田町と丸山町がかなりの被害を受けたことがわかります。この洪水でも平成29年の洪水と同じ状況です。

2. 陰徳倉(米の備蓄)

次に陰徳倉が効果をあげました。陰徳倉は文化14年に代官として赴任した塩谷大四郎(1770～1836)により文政2年(1819年)に設置されました。これは災難にあった人を救うためでした。商人地の豆田町と隈町からお米が寄付され、代官所の蔵に備蓄されました。塩谷代官も日田での災害多発を意識してこの蔵を作ったのでしょう。



陰徳倉跡



陰徳倉跡説明文

3. 書簡(日田から大阪へ)

災害後の動きは書簡でも伝わります。6月2日に廣瀬青邨(咸宜園第3代目塾長1819～1884)は大阪滞在の廣瀬旭莊(咸宜園第2代目塾長1807～1863)に報告します。すると、旭莊の方からの書簡(安政5年6月16日付青邨宛旭莊書簡)にはビックリする内容の返事がきました。



廣瀬旭莊肖像（廣瀬資料館蔵）

①日田の洪水には驚きました。隈町は被害はなく安心です。大阪でも5月18日より23日まで降り続き大洪水の状況です。

②洪水の原因は山の木を伐り荒らしたと考えられます。切り荒らした場所は池に困り、昔からの田圃は悉く消滅します。追々この被害が続くと、田圃は大被害を受け、日田の盛衰に関わります。私の意見を代官・庄屋などにお伝えください。100年後の日田は必ず衰えます。

③萩では6里（約24キロ）四方は草木を刈らせません。日田でも萩の活動をお伝えください。

（安政5年6月16日付青邨宛旭莊書簡）



廣瀬青邨肖像（廣瀬資料館蔵）

書簡からは江戸時代の人達の災害に対する意識が窺えます。現代人よりも敏感であったのでしょうか。

この時、豆田町隣の私塾咸宜園はどうだったのでしょうか？

豆田町の北側を流れる花月川には支流の中城川があります。江戸時代には豆田町に集まったお米を中城川を使い本流の筑後川を經由して有明海へ、そして最後は長崎まで運びました。

この時（安政5年）、中城川も氾濫したので授業を休講しました。咸宜園も洪水には苦勞したようです。

安政5年の大洪水は2年前の広範囲に浸水した豆田町と重なって見えます。また同時に災害を乗り越えてきた町民・代官所のエネルギーも感じます。

大分県と福岡県を流れる筑後川の洪水被害は数多く記録されていますが、特に明治22年（1889年）、大正10年（1921年）、昭和28年（1953年）の洪水被害が甚大で3大洪水といわれています。

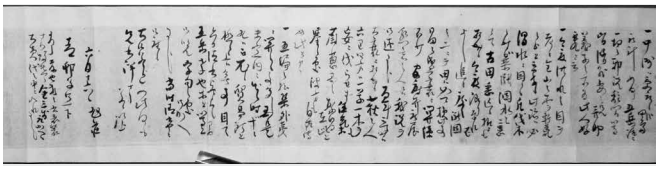
まことに水郷と水害は裏表でありました。



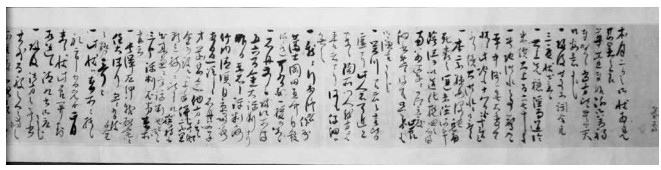
中城川



中城河岸説明文



安政5年6月16日付青邨宛旭莊書簡（後半抜粋）



安政5年6月16日付青邨宛旭莊書簡（前半抜粋）

佐賀関支部 渡 邊 豊 基

佐賀関地区「空き家&景観」再生プロジェクトの内 「地域発見サイクリング大会」について

秋晴れの爽やかな天候のもと、令和元年11月16日に標記大会を開催しました。

この大会の目的は、本神崎地域をはじめ、校区内に存在する自然や神社仏閣・公共施設などを、神崎小中学校の4年生の生徒や保護者、教師、地元まちづくり協議会、建築士会のスタッフとで自転車で散策し、その起こりや歴史的背景や現状を学習することで、本地域及び小学校校区内への造詣や愛着を深めるとともに、未来を担う人材育成と自転車の安全運転技術の向上を図ることとしました。

参加者は、小学生13名、保護者5名、教師2名、部会メンバー6名、建築士会2名の総勢、28名です。9時に、小学校グラウンドに集合して、開会式を開催。

稲生会長や渡辺校長のあいさつと渡邊による自転車運転のガイダンスを行いました。

生徒の皆さんは、きちんと整列し注意深く話を聞いており、また、全員がヘルメットを着用し、安全運転への備えも十分でした。



サイクリングの行程は、築山古墳→西谷橋→道の駅さかのせき→教尊寺→神崎海岸→小猫川→日豊本線(県道跨線橋)→木佐上ほ場整備地区→宝蔵寺「庵」(阿弥陀仏)→みんなの家(昼食・閉会式)としておりましたが、途中、いろんなハプニングがあり変更を余儀なくされました。

詳細は、後記で…

見学地最初の築山古墳では、なんと稲生会長自らガイド役をしていただきました。

築山古墳は、5世紀代の前方後円墳で、1936年(昭和11年)9月3日に、国の史跡に指定されたことや、古墳全体に葺き石が使用されていたこと。さらに、石棺には総量34キログラムという大量の朱が使われていて、当時としては最高級の豪華葬であったこと。水軍をもつ「海部郡」の歴史を解き明かす上で、重要な遺跡であること等が説明されました。

この遺跡の愛称は「石棺さま」といわれ、現在では、「石棺さままつり」が開催されていることも。

これには、生徒たちも共感し、「祭りに参加したい!」と頼もしい意見もありました。



次の見学地である、大平の「西谷橋」を目指して旧軽便鉄道敷を1列縦隊で軽快に走りました。



目的地に到着し、人数を確認したところ数名ほど遅れていたの、誰が遅れているのと聞いたら、「男子が遅いんよ〜」との女子からの回答。うーん、今年の4年生は女子が活発なようです。笑

程なくして、男子も到着し西谷橋の説明をしました。

西谷橋は、一連の石造アーチ橋で、橋の長さは約8.0m、幅は2.05m。江戸時代に作られており、形の整った優美な石橋で、大分市指定の有形文化財に登録されていることや、伊予街道として重要な道路の橋であること等を説明しました。

次の目的地は、「道の駅さかのせき」です。

一行は軽便敷を軽快に走ります。

さて、道の駅では生徒たちにサプライズとして、店主の宮田さんから「くろめたこ焼き」の提供の申し出がありましたので、現地で公表したところ、全員で歓喜の大喜び！

道の駅の説明ガイドもそっちのけで、「美味しい！」の連発。笑



道の駅でのモグモグタイムが時間を要したため、次の目的地である「教尊寺」へ一行は足早に進みます。…と思いきや、一部の生徒が遅れ気味になり、隊列を整えるため2回ほど小休止。

ここでも活発な女子は、リュックからお菓子を取り出し、モグモグタイム。

私にも、飴をおすそ分けいただき、女子と一緒にモグモグタイムを満喫しました。笑

やっとのことで、「教尊寺」に到着。

教尊寺は、江戸時代の寛永18年（西暦1641年）に建築され、熊本の細川藩の殿様が参勤交代のとき、よく立ち寄ったお寺であり、殿様が宿泊した部屋は床を一段と高くして造られていることや、細川藩の殿様のご位牌が寺に安置されていることから、殿様と寺の関わりが密接であったことを説明。

さらに、昭和61年に大分県近世寺社建築緊急調査の結果、造りが丁寧で風格のある本堂や書院の造りが、文化財としての価値が高いとの鑑定を受け、平成11年に県の有形文化財に指定されたことも説明。

最近では、経堂の痛みが激しく雨漏りなどにより、内部に保存している経典の損傷が懸念されることから、平成20年から5年間かけて、県が1億

4000万かけて建て変えたこと等をガイドしました。

ガイドの後、みなさんが素直でお利口さんになれるよう、お祈りしました。（一同合掌）



次の目的地は、「神崎海岸」です。

ここでのガイド役は、稲生会長。先ほど、築山古墳での話が長かったのか、生徒からは「説明は短くして〜」と厳しい意見が！

会長は、シナリオを簡潔にまとめるのに大苦戦でした。笑

ガイドの内容としては、古より「摩介（マジメ）の浜」、「来島（クルシマ）海岸」などと呼ばれてきたこと。

海岸から1.5kmの沖合には、「馬場の瀬」と呼ばれる大きな岩山が海底に横たわっており、魚の産卵場となる役割を持ち、魚が獲れるので漁師さんはこの瀬を大切にしているとのこと。

昭和46年に、こうぎきの海を埋め立てて、工場を造る計画を大分県が発表したこと。その半面、良い環境で暮らしたいという意見と、働けるところをつくって豊かになろうという意見で、町は大混乱になったこと。

その結果、神崎の埋立計画については、当時の知事が「こうぎき地先の海域は開発空間として留保する」と重要発表をして海が残ることとなったこと。

住民は、「せっかく残った海の活用を図ろう」と話し合った結果、海水浴場をつくることとし、トイレ、シャワー、脱衣場などの施設は古材を集めて手作業で組み立てたこと。

大分県が馬場漁港の整備事業で、水洗トイレ、シャワー、脱衣場、炊飯場、遊歩道、駐車場進入道路、摩介橋、離岸堤などの施設を建設してくれたこと。

海岸の利用について、夏だけでなく一年を通して憩え、春や秋にもお客さんに来てもらえるようにしようと、海水浴場を「こうぎき自然海浜公園」に作り替えることとしたこと。

植物の先生や鳥の専門家を呼び、自然観察会を開催し、海岸清掃やどうすれば海が汚れないかなど環境面の取り組みを進めたこと。

海水浴場を始めて7年目の1988年6月に、ウミガメが上陸産卵し、子どもたちとてんぷら廃油でローソクをつくり、夕刻になぎさに並べて、「ウミガメさん帰っておいで」とみんなで呼びかけたら、なんと翌年に帰って来たこと。

海の家（うみ亀荘）や公園に配置する椅子やテーブルなどが整ったこと。

海岸への進入路の拡張整備をしたり、駐車場の造成整備やバーベキューコンロや建屋の建設をして、10年近くの歳月をかけ自然海浜公園が出来上がってきたこと。

こうざき自然海浜公園とその周辺には、大分県が指定する準絶滅危惧種である、アカウミガメ、コチドリ、コウボウムギ、ハマカンゾウ、ハマボウなどが生育しており、希少生物を守るために、毎月1回の海岸清掃。第4日曜日の午前9時より1時間の作業を、13年継続していること。

公園内の草刈りをして、希少生物の保護繁殖をしていること。

ウミガメが帰ってくる森づくりのため、松林の再生や海浜植物の森づくりを、地元の小学生と一緒に毎年100本の植樹を3月のお別れ遠足のときに、6年生の卒業記念として実施したこと。

自然観察会として、松の専門家を囲んで植樹育林の指導を受けたこと。等を延々と説明していました。

この間、生徒たちはまたもやモグモグタイム。「ついさっき、たこ焼き食べたやん」との問いには、「だって自転車漕いでおなかすいたもん」との答え！…女子は強いです。

ただ、神崎海岸の歴史の一部でも、心の片隅に記憶してくれたら、幸いです。



アカウミガメ



コチドリ



ハマボウ



さて、ここでも予定時間を大きく上回り、一行は足早に進みます。

「小猫川」と「日豊本線」のガイドは簡潔に説明し、「木佐上ほ場整備」はスルーして、いざ宝蔵寺「庵」の阿弥陀如来大仏へ。

ここでのガイド役は、なんと渡辺校長。なにせ地元ですからということで、無茶ぶりしました。



現在の、宝蔵寺庵がある場所には、昔、「安養山宝蔵寺」という大きなお寺があったが、戦乱によりお寺は火事で無くなったこと。

その時、住職は大仏の頭と小さな阿弥陀仏、地藏菩薩を抱きかかえ木佐上から日出に逃げ、難を逃れたとのこと。

その後、夢の中で、「ここは危ないから逃げ

ろ」と、大仏からのお告げがあったため、すぐに逃げたところ、住職がいた場所のあたり一帯が土に埋まったが、住職さんは奇跡的に助かったとのこと。

住職は「大仏様のおかげで助かったから、そのお礼に、焼けて無くなった安養山宝蔵寺を建て直そう」と、木佐上に戻り、数年で大きなお寺を建て直したとのこと。

しかし、建て直されたお寺は、その後の豊薩の乱で全て焼けてしまい、それからは大きなお寺が宝蔵寺地区に建てられることはなく、江戸時代になると、佐賀関の徳応寺の末寺として小さなお寺が建てられ、今の庵寺のもとになったとのこと。

奇跡的な話を聞き、一同、神妙な気持ちになりましたが、最後に、やさしいお顔の阿弥陀如来像の大仏に、一同参拝し合掌しました。



一行は、最後の目的地である、「校区公民館」へラストスパートします。到着予定時刻は12時でしたが、すでに13時。

みんなのおなかのすき具合も、そろそろ限界でしたが、全員無事に到着しました。

公民館では、まちづくり協議会のやさしいおばちゃん達が、おいしい料理を作ってくれており、熱々の豚汁とほっかほっかのおにぎり。旬のみかんがご披露され、一同美味しくいただきました。

おなかも満腹になり、閉会式を開催。

まずは、生徒の代表から感想発表として、面白かったことや、気になったこと、記憶に残ったことなどを発表していただきました。

ここで、びっくりしたのが、なんと男子から手が上がり、明朗闊達な発表がありました。その後、校長先生からリクエストがあり、女子も発表なさいと…。

ところがサイクリング中の元気はどこへやら…少し控えめな意見発表でした。



最後に、太田館長と渡辺校長先生から講評をいただき、元気で事故なく無事に、地域発見サイクリング大会を終えたことを報告いたします。

最後に、来年の地域発見サイクリング大会のコースをどこにするか、じっくりと思案する所存です。

編集、渡邊豊基／写真、上田 亮

実行委員長 櫻木 弘三郎

第6回おおいた建築セミナー in 日田



「淡窓さんとゆらめく千年のあかり」をテーマに今回で6回目となるおおいた建築セミナーを日田の地で開催させていただきました。

廣瀬資料館館長中島龍磨氏による講演の後、天領まつり・千年あかりで賑わう、伝統建造物群保存地区豆田のまち歩きをお楽しみいただきました。例年とは違って「建築」に関する講演や分科会を行いませんでしたので、参加された皆さまには戸惑いがあったのではないかと思います。まちの成り立ちであったり、ここに暮らす人びとの人生観であったり、古くから伝わり今なお息づく「天領日田」そのものを皆さまに感じ取っていただけたとしたら嬉しく思います。各支部の皆さまご参加、そしてご協力ありがとうございました。

8月から11月まで計4回の実行委員会を開催して当日を迎えました。各部会は更に回を重ねて行われていたかと思えます。「おじさん、お兄さん、お姉さん、新人さんも」そんな感じで文字どおり日田支部総出となって建築セミナーの開催、大会の成功に向けて準備を進めて参りました。日田支部では部会ごとに担当の活動を行っているものの、全員がひとつの行うという機会はなかなかありません。なので、大会を主管するのは支部にとって大変なことですが、時にはこういう機会も良いものだと感じました。

交流会の席では皆さまより「お疲れさまでしたね」と労いの言葉をいただきましたが、本当に大変だった

のは、支部長、副支部長、そしてなにより各部門を指揮していただいた部会長であったと思います。部会長は部員に役割を与えて上手く巻き込んでくれました。また、それに応じた部員もそれぞれ自身に任された役割以上のことを全うしてくれて、実行委員長としては何の心配もなく、参加いただいた皆さまをお迎えすることができました。唯一冷や冷やしたのは、わたしが担当していた大会冊子の出来上がり前日だったということと、西国筋郡代こと実行委員長あいさつが思いつき滑ったときの白けた雰囲気ですかね。確かに「この男前なポスター」は言い過ぎたと反省しています……そんな、ちょっと抜けたところのあるわたしを実行委員長として最後まで盛り立てていただいた日田支部会員の皆さんへ感謝します。

櫻木に任せとったらヤバイと心配したのかどうか。そろそろ開催の準備を進めないって腰を上げ始めた頃「建築セミナーのこと相談に乗ります。なんでも聞いてください」と宇佐支部光井青年部長と中津支部松山青年部長からお声かけいただきました。その言葉に甘えっぱなしでいつも頼りにしていました。開会前も緊張するわたしに冗談めかし話しかけてくれて、お二人の気遣い本当に嬉しかったです。また、梅木さんをはじめ玖珠支部からも応援をいただきました。どの支部も会員が減少傾向にありますし、単独支部での開催は今後難しくなるのかなと思います。今回このようにして支部の垣根を越えて協力いただけたことを嬉しく思います。

結びに、ただただ感謝の言葉しかありません。次にこの建築セミナーを日田支部が主管するのは10年先くらいでしょうか。その頃はわたしも立派なおじさん。その時は若い世代の頑張りを応援しよう。時にはちょっと気難しいことを言いながら、でも、めっちゃお手伝いをする。そんなカッコいいおじさんでありたいと思います……と、そうなる前に次回開催の第7回おおいた建築セミナー in 別府ですね。とても楽しみです。まずは別府支部の皆さまの頑張りを応援します。そして、別府といえば温泉ですよ。混浴露天風呂青年女性委員長会議なんていかがでしょう。じんわり期待しています。また滑ってますね。それが櫻木だと思ってご容赦くださいませ。それでは皆さま、次回は別府の地でお会いできるのを楽しみにしています。

青年部副部長 佐藤 幸司



令和元年11月9日「第6回おおいた建築セミナー」が天領日田の地で開催されました。開会に先立ち大分県建築士会井上正文会長より、日田出身の広瀬知事と井上県議の祖先とのつながりなど貴重なあいさつをいただきました。

次に大会会長を務めた日田支部長の野村晋二より、大分県内より多数の建築士の皆様が参加していただいたことへの感謝を述べ、佐賀県をはじめ各地で災害が多発した年でもあり、このような中、建築士がどのように関わっていくかが重要であり、今回の基調講演は日田市の先哲であります「廣瀬淡窓・久兵衛」を演題とさせていただきました。私は、是非今後の仕事等に何かヒントになればと開会の挨拶をしました。来賓として日田市副市長より平成24年・29年の災害についてのお礼とこれからの建築士に対し期待する旨の挨拶をいただき開会しました。

〈基調講演〉

『(第1部) 淡窓の「心」や「教え」を今のくらしに生かす、(第2部) 久兵衛、ロマンを使命に変えて突き進む』と題して、2部構成で淡窓と同様教師である廣瀬資料館館長の中島龍磨氏を招いてご講演いただきました。まず、講演が始まる前に館長を廣瀬淡窓に見立て、参加していただいた建築士85名を門下生という設定で入学式の一場面から始まりました。

(第1部) においては、廣瀬淡窓の「休道の詩」を使いどのような園であったのかを面白おかしく演技を交え説明いただき、「三奪法」=平等、「月旦表」=実力主義、「いろは歌」=個性尊重、「治めて後学ぶ」=規律、を淡窓の脳を輪切りにした図で分かりやすくコミカルに教えていただきました。

(第2部) は廣瀬淡窓の実弟であり、病弱な淡窓に代わり16歳で廣瀬家の家督を継ぎ、現大分県知事の先祖でもある廣瀬久兵衛について、自分の夢であっ

た日本中・世界中を駆け回る夢を抑え、幕府の御用達商人・掛屋商人として廣瀬家の繁栄と日田の地を西国一の経済・文化の中心とする使命を全うすべく突き進む姿を淡窓同様に久兵衛の脳も輪切りにした図で教えていただきました。

中島館長の熱い演技とコミカルな話し方で時間があっという間に過ぎ、中身の濃い講義で2時間という制限のある時間の中で二人の英雄を語るには時間が少なすぎたようで、またいつの機会かこの続きを伺いたく惜しみながら終了しました。

日田市の先哲である二人の全く違った道ではありますが、それぞれが信念を持ち、使命を全うすべく突き進んだ歴史を学び、今後の人生や建築に対して、少し考えさせられるとともに心に響く講演でした。

青年部副部長 後藤 慎太郎



講演会及び千年あかりの竹灯籠の明かりがゆらめく豆田町散策後に交流会として開催された懇親会には75名の方々が参加してくれました。

余興演奏に日田祇園囃子なでしこ会の演奏により情緒豊かで風情ある中で美味しい食事や会話を楽しむことができ、他の支部様たちに日田の伝統文化を少し感じて貰えました。

アトラクションは各支部対抗パーパータワー♪各支部思い思いにA4の紙を折っては積み上げる様子に応援や茶々が入り、期待も入り大いに盛り上がりました。玖珠支部の奇跡の1m98cmは凄かったですね～。

宿泊所では名物の夜なべ談義。盛り上がりましたね。特に深夜0時過ぎの残ったお酒等掛けてのジャンケン大会！余りにも盛り上がりはしゃいでしまったので管理人さんに注意されるしまつ(笑)その後のサイレントジャンケン大会(笑)とても楽しい時間そして会員皆様の交流を深める場になったと思います。

令和元年度 公益事業の成果

白 杵 支 部

白杵支部 松 井 健 児

1. 町並み学習ワークショップ

町並み保存事業に関する学習会を年4回程度、全市民対象に行っています。

第1回目は、6月23日文化財保護法の改正の趣旨と内容について、斎藤会員を講師に実施しました。



観光交流プラザ3階 大会議室にて



第2回目は、湯布院・杵築・別府方面への実地研修を行いました。

由布院駅前を出発し、町並み見学をしながら、隈研吾氏設計のCOMICO ART MUSEUMを見学、風景に溶け込む建築を学び、杵築の伝建地区へ向かいました。

最後に別府・信濃屋さんの引き家建築の見学、問題点と課題の説明を伺い内部をじっくり拝見しました。



信濃屋内部見学風景

第3回目は、奈良大学の千田教授をオブザーバーに招き町ゼミ全国大会の報告を斎藤会員より受け、空き家調査のまとめを行いました。最後に千田教授の総評を頂き終了しました。

第4回目は、3月に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で次年度へ延期といたしました。



2. 空き家対策事業

計5件の空き家を調査しました。

内、4件は、建築物の価値の査定、耐震面からの

検討、修繕の必要な箇所、利用形態の提案、掛かる予算についての検討を行うための調査・建築図面の作成を行いました。

- 8月26日 平清水・安東邸
木造2階建
- 9月8日 二王座・みくらや
木造2階建（一部 S造）
- 9月29日 浜町・佐藤邸
木造2階建
- 10月6日 浜町・通天閣
木造2階建



原寸図の作成

福良ヶ丘小の6年生12名の内、2名は、将来建築士になりたいという希望に燃えています。我々にとっても非常に指導しがいがありました。制作の手伝いだけでなく各職種の会員が、それぞれの仕事についても話すことのできる機会を得る事ができたとても有意義な活動となりました。



西海添・稲葉の書斎建築

西海添の旧稲葉当主の弟の書斎（木造2階建）について、この建物は、解体が決まったため、建築士として非常に興味深い建物であったため、調査し図面と写真を残す事としました。

会員からの情報と提案で実現したこの調査は、空き家対策事業のもう一方の理想型であると考えています。この事業は、ゆっくりと時間をかけて成果を上げたいと思います。

3. 子どもとふれあう建築士

福良ヶ丘小学校の6年生が卒業記念に「本棚」の作成のお手伝いをしました。構想・設計図面作成・材料の買い出し・定規、原寸図の作成・材料の加工・塗装・組立と全て子供達だけでおこない、あくまでもサポートをしました。



本棚完成

本年度公益事業は、終わってみると、とても充実したものとなりました。

但し、空き家対策事業については、今後も試行錯誤が続けて行きたいと思っています。

令和元年度 公益事業の成果

大 分 支 部

大分支部 中 原 健太郎 「リノベーションまちづくり講座シリーズ」 魁!!リノベ塾Vol.11-12]

魁!!リノベ塾は2014年に開始し、これまでにリノベーション・まちづくりに関してトップランナーである方々をゲストとして呼びし、お話を伺ってきました。今回は九州で活躍されているお三方にお話を頂きました。（3月14日にvol.13を開催予定でしたが、諸々の事情により延期となりました。）

■ vol.11 リノベはビジネスになるのか？

- ・開催日時：令和元年12月21日(土)
- ・ゲスト：田村晟一郎氏（株タムタムデザイン）

11回目のゲスト田村晟一郎（たむらせいいちろう）さんは北九州を拠点に活動され、「グッドデザイン賞」や「リノベーション・オブ・ザ・イヤー」総合グランプリを2度も受賞され、全国的に高い評価を受けている方です。ビルを再生・利活用から活性化することで、「ビル単体」から「通り」へ。「通り」から「まち」へと元気を波及していくことを目的としたビル再生プロジェクトなども手がけています。田村さんご自身もカウンターに立つという飲食店「tamtam7」も運営され、建築だけにとどまらない、活動の広さが伺えました。

そのほか、リノベーションを切り口に、関係人口や豊かさ、4点の発信力、社会性の見出し方、建築士の企画力、空き家率の高い大分の可能性、などについてお話をいただきました。

■ vol.12 ヤバい、オモケンパーク 商店街の変曲点。

- ・開催日時：令和2年1月18日(土)
- ・ゲスト：面木健氏（オモケンパークオーナー）
矢橋徹氏（矢橋徹建築設計事務所）

2020年第一回目にお呼びしたのは、今大注目の「オモケンパーク」のオーナー、面木健（おもきたけし）さんと設計者の矢橋徹（やばしとおる）さんです。オモケンパークは熊本市の上通商店街に現れた新しい“場”です。先代から受け継いだ古い建物が熊本地震で被害を受けたことをきっかけに、これからの時代に合わせてダウンサイジングさせることで、人々が街に関わるための“からまりしろ”を作る場所となっています。おしゃれな空間で若い人には人気なことはもちろん、お年寄りも立ち寄りしており、幅広い人たちが集まる場になっていました。オーナーの面木さんは、ソーシャルグッドを合言葉にこれからの時代の先駆けとなる場を創造されました。将来の商店街や街中の可能性について、参加者の皆様と一緒に考える良い機会になりました。



①田村氏が手がけた「室町シュトラッセ」。
「tamtam7」もこのテナントのひとつ。

②Vol.11会場風景 ③「オケモンパーク」まちの中心部でありながらボリュームを抑えた建築は異彩を放つ ④Vol.12 会場の風景 ⑤Vol.12 ゲストの面木氏（写真左）と矢橋氏（写真右）

令和元年度 公益事業の成果

津久見支部

津久見支部 大村正壽

今年も『第37回津久見市ふるさと振興祭』に参加しました。

令和1年10月26日(土)、27日(日)に「つくみん公園(港中央公園)」にて開催されました。

親子や子どもと支部会員と一緒に木製品(キット)を組み立てる事によって、木に触れて道具を使い、作り上げる喜びを感じて欲しいと願って参加しています。

加えて、建築士の事を知ってほしいとの思いで出店しています。



また、今年も津久見高校商業科の生徒を「販売実習」として1名受け入れました。



姫野会員の作業場で19時から会員が集まって何日もかけて作りました。



出品はイス3タイプとBOXを準備し、イスは30脚ほど、BOXは約40個が完売しました。

お父さん、お母さんや会員と金槌で釘を打って作った事は一生の思い出になる事と思います。



特に記憶に残っているのは、お母さんと小学校高学年の女の子と一緒にキットを組み立てながら「娘は部屋のレイアウトをいつも書いているのです。建築士になるにはどうすれば良いですか。」と尋ねられ、当会員が学校や受験の事を丁寧に説明していました。

彼女が建築士となり、いつの日か著名な建築家となり、津久見支部の事を思い出す事があればと想像して嬉しくなりました。



今年は、「ラグビーワールドカップ2019日本大会大分開催」を記念して、山本会員のアイデアでテントの一部にゴールを作り、子ども限定でボール(スポンジ製)を蹴るコーナーを設けました。

多くの子ども達が独特の形のボールを蹴って楽しんでいました。



「帰りたくなる町・ 住みたくなる町」

臼杵支部 松井健児

臼杵市は「住みたい田舎」ランキングが、2年連続で、高齢者部門・若者部門1位となっているようなのですが、「どこからの出典やねん」と、いつも思っているのですが、士会の活動を通じて知り合った全国町並み保存連盟の山本事務局長やナショナルトラストの梅宮事業課長や奈良大学の千田教授、そして文化庁の下間主任調査官他の方々との会話を通じて非常に評価して頂いていることを感じました。

私自身一度、県外に転出して帰ってきて始めて知った臼杵市にとっても魅力を感じています。表題については、少子高齢化及び過疎化の進む中、昨年の九州町ゼミ臼杵大会のテーマの一部にしてもらい、且つ、今年度の支部活動のテーマでもあります。

臼杵支部では、毎月第一木曜日に役員会を開催しております。ここで、支部活動を円滑に進めるための準備協議と次に繋げるための反省を行っています。また、本部・県南ブロックの行事予定の報告と参加を促し、参加者の報告を聞き、市の行政活動の予定から士会としてどのように関わる事ができるかの検討等を行っています。自身よく感じる事の一つに「建築士」を世間は知らないというのがあります。活動内容については、とても有意義だと思いますが、常に内向きの情報発信が多く周知活動は、ほとんど行われていないように思われます。

そこで、「7月1日は建築士の日」の前後、日曜から

土曜までの1週間上臼杵駅にて会員による作品展示会を開催しております。作品内容は、自身の業務に関わる事が多いのですが、非常に興味深いものを数



多く展示しています。建築士に対して一人でも多く興味を持っていただければと思います。



今年度は、焼き肉屋さんにて

また、11月末または、12月の初旬の週末には、忘年会を全会員参加で行っています。総会後の懇親会と合わせて飲みにケーションの場となっています。

年末最後の日曜は、石仏にてボランティア清掃を毎年のルーティンワークとして行っています。



緑苔の除去

最近、この活動が浸透して他団体も行うようになってきましたので、かつて苔だらけで、転びやすかった散策路が、いつでも歩きやすい環境となっています。



上臼杵駅正面「建築士の日」は、本部より借用



今年度は、10名の有志が参加しました

白杵支部は、大友宗麟の黄金の茶室を模した黄金の部屋を所有しています。新成人の家庭が支部会員の中に4名以上いまして、このうちの一人の発想で、宗麟と白杵の関わりの学習兼映えスポットの提供そして、建築士会の宣伝も含めて会場ロビーに展示しました。

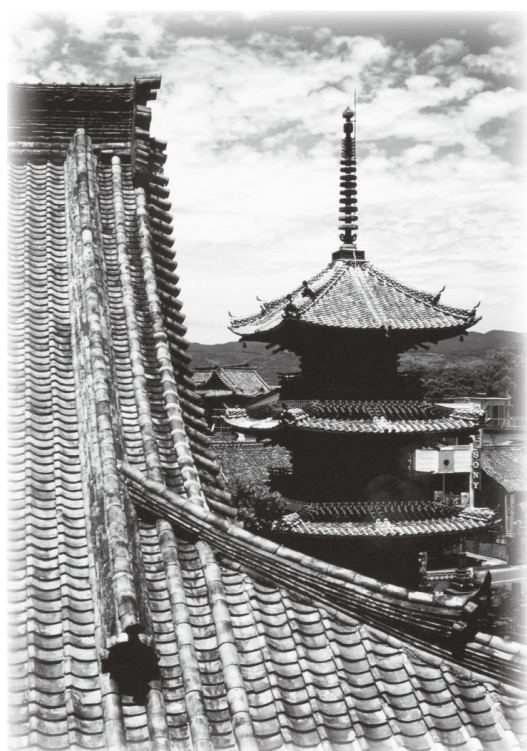


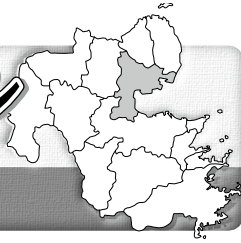
特に着物には映えスポットとして活躍

これが、結構評判がよくて、ただ、展示場所が隅っこだったため目立たない部分もありました。来年度も行うなら、目に付きやすい場所を提供するよとの言葉を会場である市民会館の館長さんよりいただき、来年度以降も継続したいなと思っています。



以上、支部会員のほっとさんでした。





支部研修旅行(大牟田、佐賀、宗像、北九州編)

別府支部 小山 秀輝

令和2年1月25日(土)～26日(日)に、別府支部の研修旅行で大牟田、佐賀、宗像、北九州へ行きました。今回の研修旅行は、「世界遺産 明治日本の産業遺産と御祭神」と銘打ち計画しました。

参加者は19名で、初日にまず大牟田市の三池炭鉱宮原坑へ向かいました。宮原坑は湧水を汲み上げて排水することを主な目的として設置された坑口。当初は人力で排水を行っていたのが、その後巨大なポンプに変わったことや、囚人たちが過酷な作業に従事していたことなど、現地のボランティアスタッフの方々に説明していただきました。

その日の昼食は、大牟田のソウルフード「洋風カツ丼」。ご飯の上にとんかつを乗せデミグラスソースをかけたもので想像通りの味でした。その後、三井港倶楽部へ移動し、三井炭鉱の繁栄を物語る豪華な洋館を見学させていただきました。支配人から丁寧に説明していただき、普段見られない小屋裏階段まで見せていただきました。初日の最後は三池海軍所跡へ。ここは佐賀藩の海軍所跡で、日本初の蒸気船を完成させたところでもあります。現存物はほとんどなかったのですがVR等を使ったハイテクな施設の見学ができました。夜は博多で懇親会。翌日に備えつつ夜の街へと三々五々…。



三池炭鉱宮原坑



三井港倶楽部

翌朝、無事一人も欠けることなく宗方大社で参拝し、大島に船で渡る班と遠賀川水源地ポンプ室を見学する班に分かれました。私は、大島に渡る班だったのですが、島を歩いて横断し、沖津宮遙拝所から遙か遠くにある沖ノ島を拝みました。遠賀川水源地ポンプ室は世界遺産に登録された構成資産の一つなのですが、現役で稼働している施設であるため、詳細に見ることはできなかったようです。この日の昼食は玄界灘の海の幸を活かした名物鯛茶ご膳。体も心も温かくしたところで最終目的地門司へ。

門司で最初に向かったのは、アントニン・レーモンドの設計による門司ゴルフ倶楽部クラブハウス。玄関からまっすぐに伸びる階段を上ると木造小屋組みの大空間が広がり、その中央には巨大な暖炉が設けられ、格式の高さと解放感を感じる内観でした。旅の最後は門司港レトロで自由散策。約6年間の修復工事を終えた門司港駅にあるスターバックスコーヒーでエッグ&キーマカレーデニッシュを頬張り研修旅行は終了。



門司ゴルフ倶楽部クラブハウス

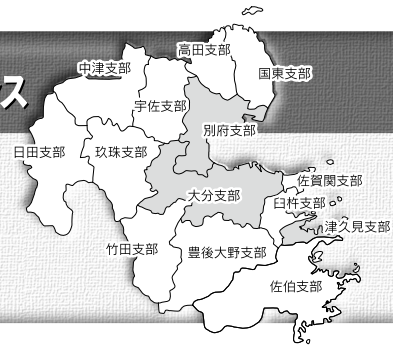
今回の研修旅行は歴史の重みと、その土地ならではのグルメを堪能できた実のある研修旅行となりました。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



★氏名 後藤 典明

★勤務先 大分市役所

★将来の夢、モットー等

大分市役所開発建築指導課開発指導室の後藤と申します。

18年間民間で仕事をしてきて昨年の4月から市役所に勤務しております。毎日学ぶことばかりで、今までが「井の中の蛙」だったと感じる日々です。

今後は、民間出身の行政マンとして自分にしかできないことを模索しながら大分市のために貢献できたらと考えております。

皆様、よろしくお願ひ致します。



後藤典明 (大分支部)

★氏名 宮井 楓

★生年月日 平成3年

★勤務先 株式会社 大有設計

★趣味 旅行、サッカー観戦

★将来の夢、モットー等

株式会社大有設計 建築設計部の宮井と申します。1年ほど前に地元である大分に戻ってきました。それまでは大学入学と同時に上京をし、卒業から約5年間、東京で構造設計をしていました。

資格試験が落ち着いたのをきっかけに、転職・移住、さらに構造から意匠へ学びの範囲を変更しました。建築士としては学ぶ姿勢を忘れずに、士会ではまちづくり班として活動し楽しんでます。

これからよろしくお願ひ致します。



宮井 楓 (大分支部)

★氏名 中谷 由美

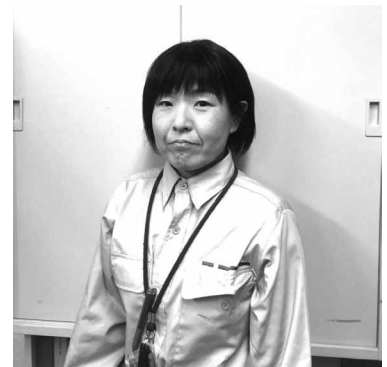
★生年月日 昭和46年10月31日

★勤務先 ミサワホーム九州(株)大分支店

★趣味 料理、クラシックバレエ

★将来の夢、モットー等

建築の専門学校に行ったものの、違う道に進んでいたところ5年前にか資格を取れとの会社からの指示で一念発起して二級を取得。その後縁あって現在の会社に現場管理として入社。紆余曲折ありながらもクラシックバレエで鍛えた体力と持ち前のトーク力で何とか頑張っています。建築士としては遅いスタートですが、お客さまからありがとうと言われる回数が増えるようになっていきたいと思います。



中谷 由美 (別府支部)

MY WORK

★建物名称 (株)サンレー日田紫雲閣田島館
★建築場所 日田市
★用途 葬祭場
★床面積 604.98㎡
★構造 鉄骨造 平屋
★設計者 (株)イーエイチ設計
★施工者 松井建設(株) 九州支社

★設計趣旨

- 外部は、シンプルな形状ではあるが庇を大きくとり表情をつけ、色調も隣接する旧館と調和がとれるようにしました。内部は、参列者を迎えるホール壁面に、地元産の日田杉を使用し、落ち着いたある雰囲気 연출しました。
- また、遺族控室は、自宅のような仕上げとし、遺族が個人を偲びゆっくりとした時間が過ごせるようにしました。



MY WORK

- ★建物名称 野津中央公民館 大ホール天井耐震化改修
- ★建築場所 臼杵市野津町大字野津市
- ★用途 公民館
- ★床面積 2,473.52㎡
- ★構造 RC造 3階建
- ★設計者 建築設計 (有)芝設計、(株)EE設計 (芝設計下請け)
- ★施工者 建築工事 旭産業(株)電気工事 野津電設工業(株)

★設計趣旨

1. 既存天井を解体し耐震化する。
耐震化に際しては、音響設計を考慮し剛天井とし構造補強を行う。

2. 天井解体に際し、天井内の空調ダクトを解体する。復旧に際して空調ダクトは、新設としサイレンサー等を設け暗騒音を30dB未満とした。
3. 天井照明器具は、LED化し調光し、簡易的なシーン設定ができるようにし、演出の補助となるよう設計した。

メインダクトより枝管を出し更にスパイラルダクトを吹出口に接続。ダクトの天井に取り込み部分にすぐサイレンサーを設けた。

音響実測を行ったところ27dB平均となった。建築の天井角度も設計誤差なしの施工となった。



BOOK My Best Book

マイベストブック

『スタンフォード式 デザイン思考』

著：ジャスパー・ウ、監修：見崎大悟
宇佐支部 古市 憲 司

「デザイン思考」という言葉を耳にすることがあり、「デザイン」＝「設計」という短絡的なイメージでこの本を手にとったのですが、本書でいう「デザイン」とは配色やレイアウトを示すものではなく、空間やサービスなどあらゆるものに対して、利用者が満足するようなイノベーションを起こすための方法論としての考え方を示すものでした。

「デザイン思考」とは、ハーバード大学デザイン研究所のハッソ・プラットナー教授が提唱する『デザイン思考の5段階』

- ①（共感）ユーザーの行動を理解し何が問題なのかを見つける。
- ②（定義）ユーザーのニーズや問題点をはっきりさせる。
- ③（概念化）仮説を立て、新しい解決方法となるアイデアを生み出す。
- ④（試作）問題に取り組み始める
- ⑤（テスト）検証

により、得られた結果をチーム全体でレビューし、発生した問題や課題に対し、解決策を見出す考え方を指します。

この5段階のサイクルを繰り返すことで、新たな気付きやアイデア・発想を生み出していくのですが、プロジェクトやチーム全体のメンバーが集まり議論を交わすことで、新たな発見が得られるだけでなく、互いに共通の認識を持つことで、互いの信頼にもつながっていくという効果もあります。

建築という仕事は0からアイデアを創出する場面も多く、「デザイン思考」的作業が必ずしも有効ではないかもしれませんが、チームとして仕事を遂行していく上で有効な手段だと感じました。



『宇宙には、だれかいますか?』

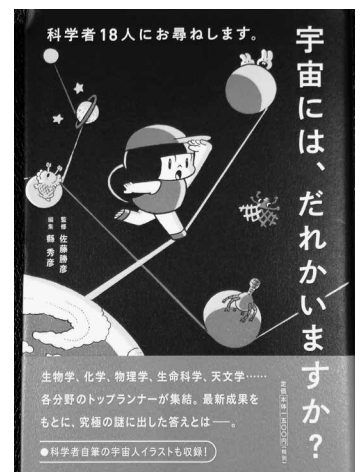
監修：佐藤勝彦、編集：縣秀彦
高田支部 後藤 憲 二

果たして宇宙人はいるのか、宇宙人がいたらどんな姿なのか。子供の頃は、同世代の人には誰もがわかると思うが、あのタコの足がびよーんと伸びたような火星人、その内だんだんいろんな宇宙人を本やテレビ番組の情報から想像していた。

書店で本を物色していたら、“宇宙には、だれかいますか？”という背表紙が目に入り、手に取ってみると何とも可愛らしい表紙、どんな内容？と興味を湧いた。

タイトルの通り、科学者18人に「地球外生命体の存在」について尋ね、彼らがそれに対して、自分たちの研究分野や領域を重ねながら回答する。地球ではないどこかにいる生命体について、それぞれの科学者が「いる」「いない」だけでなく三者三様の答えを出しているのが興味深く次の人は？と思い、どんどん読み進んでいく。それぞれの回答が、各々と重なる部分とそうではない部分があって非常に面白い。科学だけじゃなくて哲学の世界に片足突っ込んでいる内容の中で、現実主義なバリバリの科学者がいたり、ロマンチストな科学者がいたりで科学者も三者三様なんだなあとなかなか興味深い。宇宙人とはどのように接触すべきなのか、人類は宇宙に進出できるのかは特に気になるところだ。

宇宙における生命の研究を「アストロバイオロジー」と呼ぶらしい。宇宙における生命について考えるというこの本のテーマは、人間中心主義、地球中心主義、太陽系中心主義的な考えに縛られず『生命』について考えるきっかけになるそんな本だと思う。



我が街紹介

佐賀関支部 井上雅順

佐賀関と言えば「関アジ・関サバ」が有名ですが、今回まずは佐賀関小黒地区の海岸道路沿いにある故・森繁久彌氏の句碑を紹介します。大御所俳優の氏が1968年に当時の国会議員であった佐藤文正氏と二人で佐賀関に魚釣りに来訪し、漁師さんの案内で佐賀関沖にある高島周辺でブリ釣りをした際の帰港中に船上で詠んだ句が石碑に刻まれています。当日の釣果はブリが2匹で、その2匹が船の生け簀の中で寄り添いながら空を見上げている様子を詠んだ句です。日本マリーナ・ビーチ協会の専務理事を務めるなど海を愛してやまない氏の、魚にまで愛情の目を向けた素敵な句です。石碑には…

「この鰯は 夫婦ならんか帰り舟 寄り添う如く 雲見ていたり 森繁久彌」…と刻まれてあります。意外と知られていないこの石碑。一見の価値あります。場所は小黒地区から大黒地区へ向かうカーブのすぐ先の左側です。さらにここから関崎灯台への途中には展望台もあり、豊後水道が一望でき、ドライブコースには最高ですよ。

さらにもう一つ知らない人が多いのが、4月下旬から5月下旬にかけて関崎に飛来する「アサギマダラ」というとても美しい蝶の事です。

毎年GW前頃に台湾から飛来し、東北へ向かう途中に関崎や姫島に好物であるフジバカマという花の蜜を吸いにきて休息します。たくさんのアサギマダラが人を恐れずにすぐ目の前を花から花へとひらひらと優雅に舞う姿はとても美しく癒されます。全国にファンがいて、捕獲した蝶にマーキングをして再び放し、別の場所での目撃報告などの情報交換をしたりして活動しています。その結果、2千kmも旅をする事がわかりました。とにかく美しい蝶です。20年以上前、無知な自分は関崎半島での仕事に目の前にひらひらと現れたこの蝶を見て、「見たことない！きっと新種だ！この美しさと優雅な飛び方は神の使いか!？」と興奮して舞い上がったほど地元民ですら知らない人がいる貴重な蝶です。おすすめの出現スポットは関崎海星館です。シーズンにはホームページのブログにも情報ができます。毎年この蝶を観に訪れる人達もたくさんいます。みなさんもこの春は関崎観光ドライブいかがですか？



我が街紹介

～中津市歴史博物館のご紹介～

中津支部 永井孝典

～なかはくからのメッセージ～

中津市に歴史博物館が令和元年11月1日にオープンしました。海辺の城下町から市域の大半を占める奇岩の溪谷「耶馬溪」まで、バリエーションに富んだ地形の中で育った中津独自の歴史と文化をご紹介します。そして博物館は過去のもの展示しているだけの空間ではありません。伝えたいのは「博物館で見たら現地へ。そこから未来を考える」こと。その思いを込めたロゴマークは、中津の「中」をかたどった「∞」で、「過去と未来の時の回遊」と「中津市全体の回遊」を表現しています。過去のものと思っていた文化財も、輝く未来への資産となるかもしれません。ぜひ「中津市歴史博物館－なかはく－」を起点に町に飛び出し、地域に息づく歴史にふれてみてください。



中津市歴史博物館－なかはく－ 外観

～施設概要～

なかはくは中津市中心部に位置し、黒田官兵衛が築いた九州最古の近世城郭中津城の隣にあります。眺望ラウンジとカフェから中津城と石垣を見ることができます。館の中央の展示室は有料ゾーンとなっており、歴史と文化を伝える展示や様々な企画展示を行います。たっぷり備えた無料ゾーンには、子供から大人までが楽しく体験学習ができるプレイスタジオや、中

津城の石垣をわかりやすく解説したシアター、カフェ、ミュージアムショップなどがあります。



中津市歴史博物館－なかはく－ 内観



中津市歴史博物館－なかはく－ 内観



マーボの旅先日記 その12

会長 井上正文

「三大〇〇〇と文化財」

文化財に限らず、多種多様な文物をジャンル別に分類すると一番、二番、三番のランキングづけがなされるのが世の常です。順位付けされると「三大〇〇〇」として順位付けされて称されることになります。例えば、「三大うどん」といえば①讃岐うどん、②稲庭うどん、③五島うどん…という具合です。

実は、三番手の五島うどんには諸説あって、いやいや群馬の水沢うどんでしょう…などと異議を唱える人が必ず現れる次第。こんな話の「建造物・三大〇〇〇」の話国宝建造物に絡めてやってみたいと思います。

〇三大阿弥陀堂

この日記で、度々お話してきたように、私は「国宝建造物巡り」をライフワークにしてきました。2012年茨城県水戸市で開催された「建築士会全国大会茨城大会」

が終わって、水戸市内からそう遠くない、隣県福島県のいわき市にある「国宝・白水阿弥陀堂」を訪ねた時の話から。阿弥



国宝・白水阿弥陀堂

陀堂内に入ろうとすると住職さんらしき方が説明を滔々と始められました。説明の初っ端は「このお堂は我が国、三大阿弥陀堂のひとつです。残りのふたつは、いわずと知れた京都・宇治の平等院と東北・平泉の中尊寺金色堂です。」から始まりました。ここで、私は耳を疑いました。平等院と金色堂は押しも押されぬ知名度抜群の阿弥陀堂です。しかし、私の頭の中では、ナンバーズリーは確信を持って、大分県豊後高田市にある「国宝・富貴寺大堂」だったので、さすがに反論することは控えましたが、三大〇〇〇のナンバーズリーには、諸説あることを思い知らされた次第。

〇三大天満宮

天満宮といえば、菅原道真を祭った神社で全国に点在しています。この数多の天満宮のランキングを

ご存知でしょうか。何と云っても、正月と受験シーズンには大賑わいの福岡・大宰府天満宮と京都の国宝・北野天満宮は、はずせ



国宝・北野天満宮

ませんね。ナンバーズリーは山口県の防府天満宮でしょうか。天満宮でも全国にはナンバーズリー候補が目白押しようです。

〇三大八幡宮

八幡宮のナンバーワンは総本宮でもある大分県が誇る国宝・宇佐八幡宮は不動でしょう。二番手は、数年前に国宝指定を受けた京都府の石清水八幡宮までは異論がないようです。三番手となると諸説あるようです。私としては、学生時代から馴染みの深い、福岡・箱崎八幡宮と思っていますが知名度からは、鎌倉にある鶴岡八幡宮も有力候補ですね。3



国宝・石清水八幡宮

代鎌倉将軍・源実朝が暗殺された現場としても有名ですからね。

今回は、「三大〇〇〇」をテーマに文化財（国宝）を絡めてお話ししましたが、それぞれ

ナンバーズリーは諸説ある場合が多いようです。皆さんも、お気に入りのナンバーズリーを見つけて「自称三大〇〇〇」を作られては如何でしょうか。

事務局だより

■委員会活動報告及び予定

総務委員会

1. 「会員増強特別期間」について

例年のとおり、令和2年1月から3月まで「会員増強特別期間」を設け実施しました。

入会者特典や支部特典を設け、新会員の加入促進に努めました。

事業委員会

1. 『プリツカー賞記念・磯崎新の建築をめぐる旅』について

令和元年11月23日～24日に磯崎新氏のプリツカー賞受賞を記念して、設計された建築群をめぐるバスツアーを開催し学生7名を含む29名の方が参加しました。23日は「北九州市立美術館」と「北九州市立図書館」を磯崎アトリエに勤務されていましたが、西岡弘先生（西岡弘建築工房・西日本工業大学 客員教授）からガイドをいただき、幅広いお話を聞くことができました。「北九州国際会議場」「西日本総合展示場」はバスの中からの見学となりましたが、西岡先生から見学のポイント等のお話をいただき大変勉強になりました。夜は、山口士会の方が3名参加いただき交流会を行いました。翌24日は「山口県情報芸術センター」と「秋吉台国際芸術村」を見学しました。

大変有意義な2日間となりました。

調査研究委員会

1. 「地域の歴史的建造物の保存・活用に係る専門家（ヘリテージマネージャー）育成&ステップアップ研修」について

<第7回>

11月8日(金)コンパルホール

1. 伝統構法建築物の耐震設計演習（事例研修）
講師 古民家耐震改修工房K 金山敬氏
2. 大分の個性を考える
～九州の県都と比較して～
講師 神戸芸術工科大学教授 西村幸夫氏

<第8回>

12月6日(金)コンパルホール

1. 歴史的建築物の活用のための防火対策
～文化財建造物の消防設備～
講師 能美防災(株) 田中浩二氏
2. 歴史的建築物の活用のための防災対策
～消防実務からの対策～
講師 元東京消防庁 崎田芳晴氏

<第9回>

令和2年2月8日(土)コンパルホール

本年度分の最後の講義と閉講特別講義。

テーマは、

1. 歴史的建造物修復と保存活用計画策定の要
2. 閉講特別講義
建築士会歴史的建造物委員会の新たな展開
講師 工学院大学理事長 後藤治氏
講義終了後に、研修修了式が行われ井上会長より受講生へ修了証が授与されました。

青年女性委員会

1. 「第2回大分県建築女子会in竹田」について

令和元年12月7日(土)に竹田市において第2回目の大分県建築女子会（昨年度は湯布院）が行われました。今年は鹿児島と宮崎の建築女子も参加いただき竹田の建築と町並みの魅力を再発見し、建築女子同士で交流を深めることができました。

まず、竹田市立図書館を設計した塩塚隆生アトリエ様から説明をいただき、次に隈研吾氏が設計した城下町交流館拠点施設の工事現場の見学を行いました。夜の懇親会（意見交換会）では、より一層絆を深めることが出来ました。

昇降機等定期検査報告推進委員会

1. 「昇降機（エレベーター）閉じ込め事故に関する早期救出対応研修会」について

11月19日(火)、大分市の城南団地の県営住宅において約30名の方が参加され研修会を開催しました。当日は、団地自治会、住民、エレベーター会社、消防、県、団地管理者の住宅供給公社等、多くの関係機関の方が参加されました。

■事務局からのお知らせ

案内1

令和2年6月19日(金)の通常総会終了後、大分センチュリーホテルにおいて、例年開催しております永年会員表彰式と懇親会を予定しています。
賛助会員の方も出席されますので、会員も出席いただき交流を深めていただければと思います。
詳細は改めてご連絡いたします。

案内2

「建築士定期講習」開催について

令和2年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内します。(中津、日田でも開催します)
建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

案内3

「監理技術者講習」について

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、一級建築施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、一級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

<講習会日程>

- 「毎月第2水曜日」に開催します。
- 時 間：8：50～16：40〔受付8：30開始〕
※8：45～8：50の5分間に講習の運営説明があります。
- 会 場：(公社)大分県建築士会会議室
- 形 式：DVD講習
- 定 員：各回10名程度
- 受講料：WEB申込 9,500円/
窓口・郵送申込 10,000円
※受講申し込みは日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

案内4

「会員名簿 2020」の作成について

令和2年8月を目途に「会員名簿」を作成します。
提出締切日の厳守にご協力ください。



報告1

「建築士法の一部を改正する法律」施行について

令和2年3月1日より、新しい建築士制度が施行されました。

- 概要
1. 建築士試験の受験資格の見直し
 2. 建築士資格に係る実務経験対象実務の見直し
 3. 学科試験免除の仕組みの見直し
 4. 建築士事務所の図書保存の見直し
- ※詳しくは、別ページをご覧ください。

報告2

「第2回支部長・支部事務局員会議」について

令和元年12月9日(月)にアートプラザにおいて次の内容について開催されました。

- ・支部事務局業務支援費用の用途
- ・公益事業「小口現金出納帳（立替出納簿）」の作成要領
- ・本年度の公益事業執行状況
- ・来年度の公益事業計画、要望書の提出

報告3

「第2回理事会」について

令和2年1月24日(金)にアートプラザにおいて次の内容について開催されました。

- ・二級建築士等登録事務規程の改正
 - ・令和2年度役員改選に関する基本方針
 - ・委員会及び部会の見直し
 - ・令和2年度総会日程等
- ※詳しくは、別ページをご覧ください。

報告4

「第3回理事会」について

令和2年3月23日(月)にコンパルホールにおいて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス対策のため電磁的記録により開催しました。

内容は次のとおりです。

- ・来年度事業計画、予算案
- ・今年度事業及び決算見込み
- ・各支部の新理事選考状況

報告5

「第10回建築甲子園」の審査結果について

連合会と都道府県建築士会主催の「第10回建築甲子園」の審査結果が発表されました。

「地域のくらしーこれからの地区センター」をテーマに提案を求められました。

当県からは、県立鶴崎工業高校が出場しました。松田先生の指導のもと建築科の生徒さん2名により作成応募し、審査の結果「奨励賞」を受賞されました。
※詳しくは、別ページをご覧ください。

報告6

「一級・二級建築士免許証明書交付式」について

令和2年2月26日(水)大分センチュリーホテルにおいて20名の方が出席され交付式が行われ、井上会長から免許証明書が交付されました。

※詳しくは、別ページをご覧ください。

会務行事案内

6月1日 第1回理事会

6月19日 総会・理事会・永年会員表彰式
懇親会



会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「**法令基準未達補償**」および「**構造基準未達補償**」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、**耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」**を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等 に起因する 損害賠償責任	滅失・破損 あり		↑ 2016年度までの けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能)		
		法令基準未達補償 2014年改定 ※補償対象外とすることも可能です。		
		構造基準未達補償 2014年改定		オプション
建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定				オプション

● 法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

● 構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

● 建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会
連合会のホームページ

刊行物案内と保険制度
>【保険制度】のご案内

2020年度
けんばい 新規加入の方



このチラシは建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。
詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL: 03-3456-3273 FAX: 03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209
引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

2020年1月作成
19-T05615

設計・監理業務等のリスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

会員
限定

建築士賠償責任補償制度
けんばい
勤務建築士用

2015年6月25日施行の改正建築士法において、「一定規模の建築物について、書面による契約締結が義務化」されたこと等により、建築士個人の責任が明確化され、賠償リスクが高まりつつあります。こうした新たなリスクへの対応を視野に入れた「けんばい勤務建築士用」を2016年1月1日より創設いたしました。


加入資格
被保険者 **建築士会会員であって、「建築士事務所に勤務する建築士」**
※建築士事務所の代表者は加入できません。

建築士個人が訴えられるケース（想定事故例）

引渡し後の建物の天井裏に結露が発生し、天井化粧版が剥がれ落ちた。原因を調べたところ設計及び監理のミスであった。

上記事例の事故において、建築士事務所の使用人の建築士個人に対して損害賠償請求がなされた際に、本保険の対象となります。

- 被害者が、建築士事務所のみならず、設計監理を行った使用人の建築士個人に対しても損害賠償を請求した。
- 当時設計をした建築士事務所が既に廃業していたため、使用人であり実際に設計図書を作成した建築士個人に対して損害賠償請求がなされた。



建築士賠償責任補償制度（けんばい勤務建築士用）のメリット

- 1 建築士会会員のための補償制度です。
- 2 年間掛金**5,000円***で1,000万円を限度として補償できます。
※上記掛金には保険料4,800円と制度運営費200円が含まれております。
※団体制度の維持・運営費のために各加入者様より団体に制度運営費（200円）をお支払いいただいております。
- 3 建築士事務所に勤務する建築士が、国内で遂行する建築物の設計業務または法適合確認業務に起因して生じた事故が補償されます。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会のホームページ → 刊行物案内と保険制度 > [保険制度]のご案内 → 2020年度 勤務建築士用 **新規加入の方** ◦



このチラシは建築士賠償責任補償制度（けんばい勤務建築士用）の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

建築士個人の責任が問われる!?
新たなリスクに備えて新登場。

公益社団法人 日本建築士会連合会
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
http://www.kenchikushikai.or.jp/

取扱代理店 **株式会社 エイアイシー**
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209
引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

2019年11月作成
19-T04453

けんばいご加入の建築士事務所限定

日本建築士会連合会の 無料法律相談サービス

設計内容のトラブル

設計料を払ってもらえない

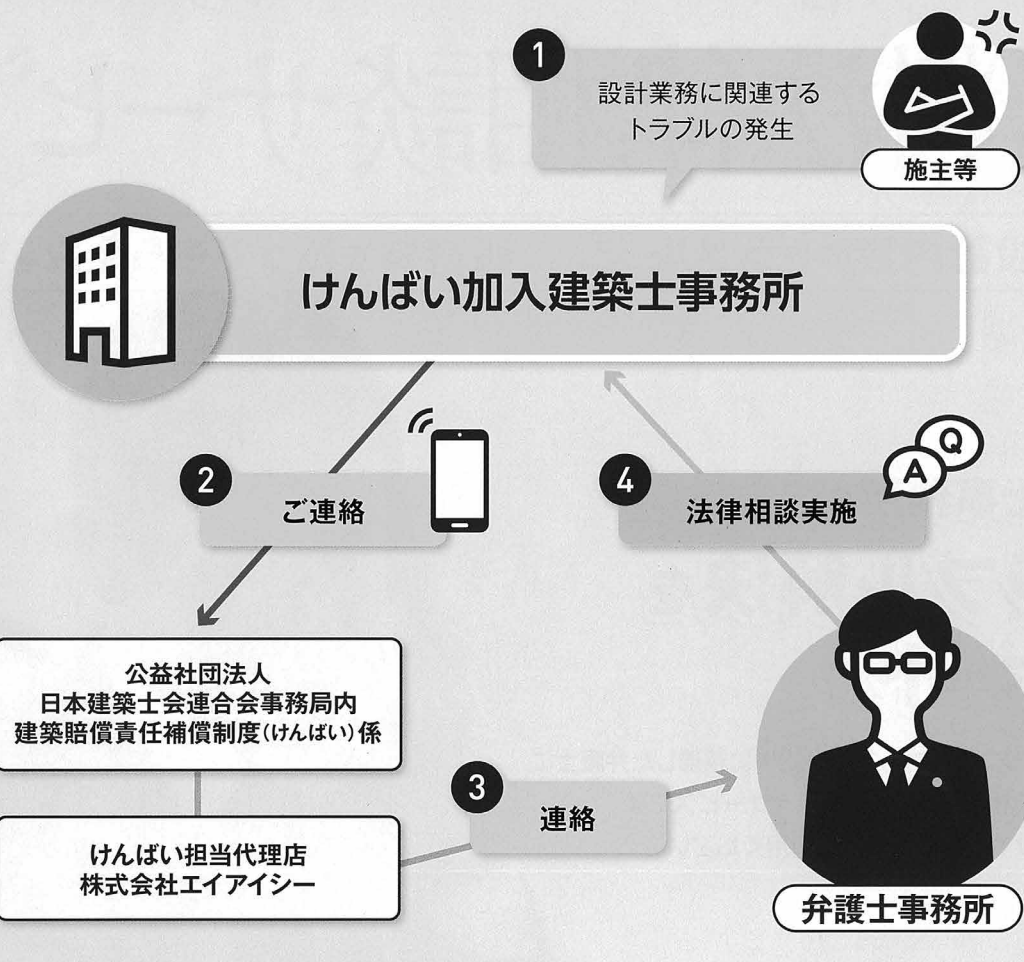
建築士事務所の トラブル解決を サポート

お困りのトラブルに対して建築紛争に精通した弁護士に
法的なアドバイスを受けられるサービスです。
解決に向けてのサポートにご利用ください。

サービス内容

- 建築士会「けんばい」の加入事務所様に利用いただけます。
- 年1回1時間まで利用できます。
- 建築紛争に精通した弁護士が電話相談に対応します。

無料法律相談サービス*ご利用の流れ



ご利用にあたっての主な注意点

- ご相談の事柄が保険期間中に発生しており、かつご相談時まで保険契約が継続している場合に限りです。
- 本サービスは電話での相談サービスです。書類作成、交渉、訴訟などの具体的な依頼については別途、弁護士との契約が必要です。

「無料法律相談サービス」窓口

公益社団法人 日本建築士会連合会事務局内 建築士賠償責任補償制度(けんばい)係



お電話

03-3456-3273

受付時間 / 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)



FAX

03-3456-2067

* (公社)日本建築士会連合会を通じて提供するサービスです。

広報委員

担当常務理事 〈大分〉 宮 崎 隆 博
委員 長 〈別府〉 籠 田 真一郎
委 員 〈高田〉 清 末 幸 生
員 〈大分〉 後 藤 悟 明
〈津久見〉 濱 野 一 昭
〈佐伯〉 志 賀 智 昭
〈日田〉 佐 藤 敏 孝
〈中津〉 松 山 桂 嗣

編集委員

担当常務理事 〈大分〉 宮 崎 隆 博
委員 長 〈高田〉 後 藤 憲 二
委 員 〈大分〉 高 橋 大 介
員 〈大分〉 丹 生 孝 太
〈大分〉 野 村 卓 矢
〈別府〉 小 山 秀 輝
〈臼杵〉 佐 藤 暢 彦
〈津久見〉 竹 田 光 徳
〈佐伯〉 長 田 孝 治
〈佐賀関〉 井 上 雅 順
〈豊後大野〉 伊 東 勇 治
〈竹田〉 江 上 禎 一
〈玖珠〉 白 地 泰 憲
〈日田〉 伊 藤 照 幸
〈中津〉 松 山 桂 嗣
〈宇佐〉 古 市 憲 司

建築士おおいた

2020. 3 No. 124

(非売品)

令和2年3月31日 印刷

令和2年3月31日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0023	臼杵市大字江無田 131 番地 1 (株)高橋設計内	0972-62-4213
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会